

1. メンタルヘルスケアに取り組んでいる事業所 47.2%～平成 24 年労働安全衛生特別調査より

厚生労働省が、「平成 24 年労働安全衛生特別調査(労働者健康状況調査)」の結果を取りまとめ、公表しました。調査は、労働者の健康状況、健康管理への取組状況、意識等について事業者、労働者双方を対象におこなわれましたが、今号ではその中からメンタルヘルスについての調査概要をまとめます。

調査によると、メンタルヘルスケアに取り組んでいる事業所の割合は 47.2%で前年の調査(43.6%)よりも上昇し、事業所規模別にみると 300 人以上の規模では 9 割を超える事業所が取り組んでいます。取組内容を見ると、「労働者への教育研修・情報提供」(46.7%)が最も多く、次いで「管理監督者への教育研修・情報提供」(44.7%)、「社内のメンタルヘルスケア窓口の設置」(41.0%)となっています。一方で、メンタルヘルスケアに取り組んでいない理由については、「必要を感じない」(51.0%)が最も多く、次いで「取り組み方が分からない」(31.6%)、「専門スタッフがいない」(22.4%)となっています。取り組んでいない事業所の今後の予定としては、「予定がある」は 0.5%、「検討中」が 23.0%、「予定はない」が 76.5%でした。

労働者調査では、現在の仕事や職業生活に関する強い不安、悩み、ストレスとなっていると感じる事柄がある労働者の割合は 60.9%となっています。また、強い不安、悩み、ストレスを感じる事柄の内容をみると、「職場の人間関係の問題」(41.3%)が最も多く、次いで「仕事の質の問題」(33.1%)、「仕事の量の問題」(30.3%)となっています。自分の仕事や職業生活での不安、悩み、ストレスについて「相談できる人がいる」労働者の割合は 90.0%でした。

9 割の人が相談できる相手がいるとはいえ、そこで問題が必ずしも解決できるわけでもありませんので、企業にとってメンタルヘルスに対する取り組みは重要なものとなりそうです。



2. 「マタハラ」とは？その原因と対策を考える

「マタハラ」とは、マタニティハラスメントの略語であり、働く女性が妊娠・出産を理由に解雇・雇止めをされることや、妊娠・出産にあたって職場で受ける精神的・肉体的ハラスメントのことを言います。働く女性にとっては、「セクハラ」「パワハラ」に並ぶ3大ハラスメントの1つと言われているそうです。

連合が今年5月に実施した「マタニティハラスメントに関する意識調査」によると、「マタハラという言葉も意味も知らない」と答えた人が約8割に上った一方、妊娠経験のある女性労働者の4人に1人が「マタハラに該当する被害を受けたことがある」と答えています。

実際にあったマタハラの相談内容としては、「妊娠を告げたら、退職を強要された(解雇された)」「会社に育児休暇の規定はないと言われた」「妊娠中に残業や過重労働をさせられた」などが挙げられています。マタハラが起こる上位3つの理由として①男性社員の妊娠出産への理解不足・協力不足、②会社の支援制度設計や運用の徹底不足、③女性社員の妊娠出産への理解不足が言われています。

職場のマタハラをなくすためには、まず、妊娠・出産・育児に関する規定や制度をしっかりと整備し、社員への周知や啓発を行い、意識を高めていくことが大切です。連合では「働くみんなのマタハラ手帳」を発行しており、妊娠・出産と仕事を両立するための基本的な法律がマンガ等でわかりやすく紹介されています(ホームページでも見ることができます)。専門的に就業規則のチェックを見直すなどして、誰にとっても仕事と生活の調和が可能になるような職場全体の働き方を見直していきたいものです。

● 編集後記 ●

社労士会の抽選で割引券が当たり、三連休にディズニーランドに行きました。1年で最も来場者数が多い月だそうで人気アトラクションは 200 分待ちという激混み状態。さて、みなさんのお気に入りアトラクションは何ですか？私は「ジャングルクルーズ」(船に乗って岸に置いている動物や部族の置物に対して船長さんがダジャレを言いまくる)、「カヌー探検」(マジでカヌーをこがされる。真剣にやれば翌日は筋肉痛)、「キャプテンEO」(マイケルジャクソン遺作の3D映像。好きという世代がわかる)に行きましたが、比較的空いていましたよ。みんなとポイントずれているのでしょうか？!(笑)朝から晩まで満喫しました！(秋山)

あおぞら人事・労務サポート
 特定社会保険労務士
 秋山幸子 (登録 NO.13050514)
 三鷹市下連雀 3-38-4-307
 TEL:0422-24-8625
 FAX:0422-24-8605
 E-mail: info@aozora-sr.com
 URL: www.aozora-sr.com

責任編集: 社会保険労務士
 秋山・隅谷・玉川・安部(武蔵野統括支部)